

司法福祉学会第26回全国大会
「2026 東京大会」プログラム
大会テーマ「司法と福祉の“はざま”で」

大会実行委員会

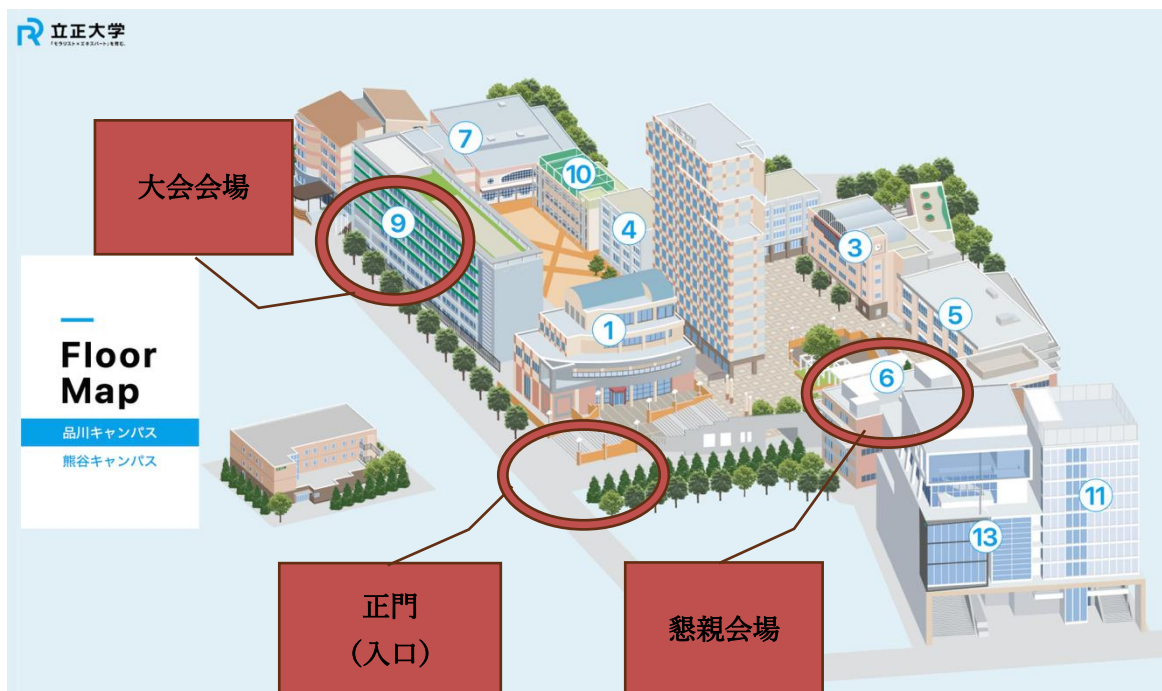
■ 日時

2026年8月29日（土）～30日（日）

【第1日目】8月29日（土）	【第2日目】8月30日（日）	
	【午前の部】 9:30～12:00 企画分科会 1～5 10:00～12:00 自由研究報告 1～4	ポスター発表 （在席責任時間 12:00～13:00）
12:30～ 受付開始	【午後の部】	
13:00～13:15 開会挨拶	13:30～16:00 企画分科会 6～9 13:30～15:30 自由研究報告 5～11	
13:15～16:30 大会シンポジウム		
16:45～17:45 総会		
18:00～19:30 懇親会		

■ 会場アクセス

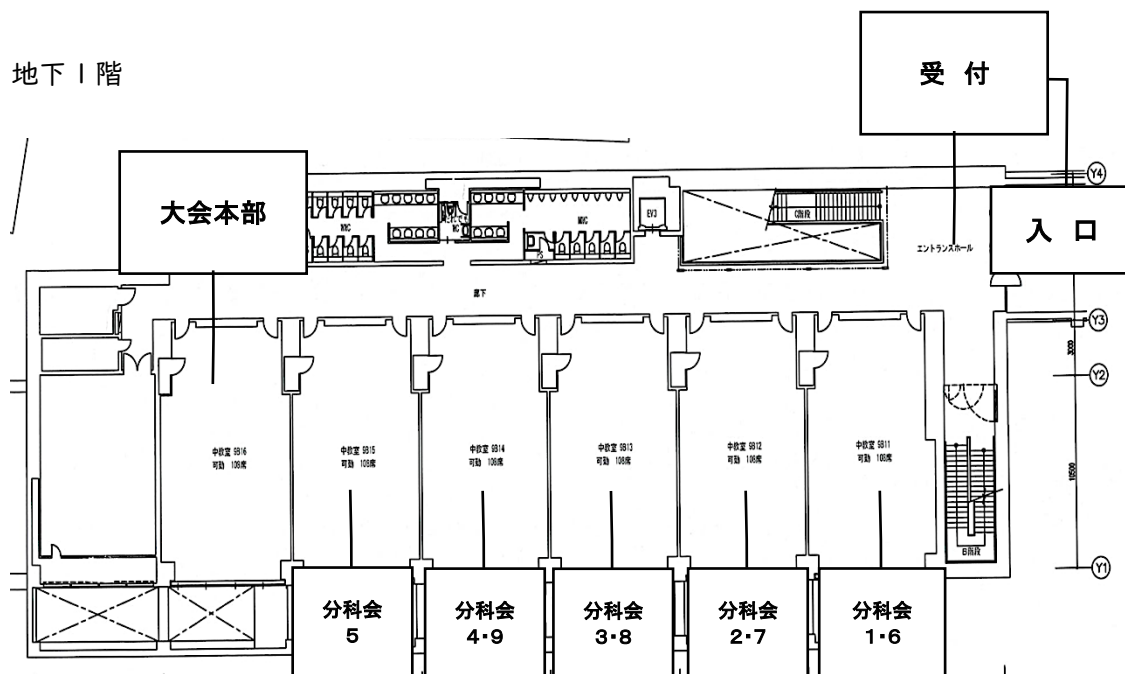
立正大学品川キャンパス 9号館 地下1階・地下2階（受付は地下1階）



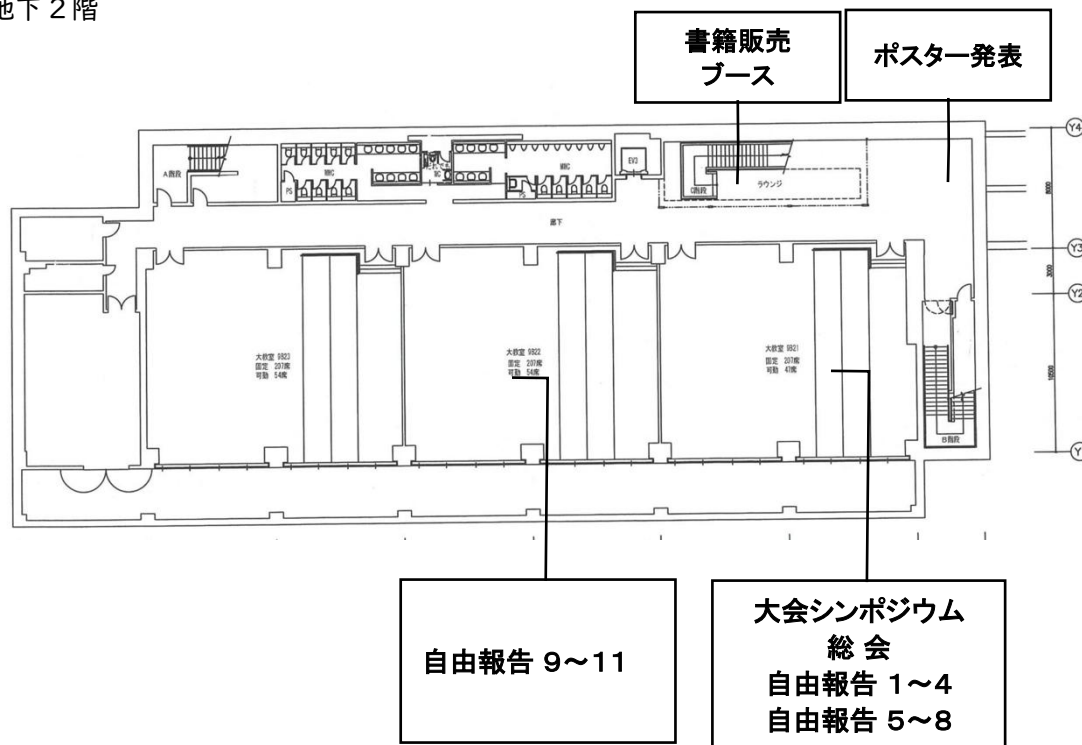
【注意】夏期休暇中は山手通（13号館方面）門が閉まっています。必ず正門（1号館方面）側（正門横の守衛室側の入口）から入り、9号館に向ってください。

■ 9号館地下フロアマップ

地下1階



地下2階



■ 大会シンポジウム

テーマ：「繁華街に居場所を求める子ども・若者たちと司法福祉」

企画者：小西 暁和（早稲田大学）

会場：9号館 9B21 教室（参加人数が多い場合は 9B22 教室でサテライト放送を予定）

■ 企画分科会（9号館地下1階）

【午前の部】 9：30～12：00（150分）

会場	企画者	題目
分科会1 9B11	大貝 葵	家庭裁判所調査官による「環境の調整」についての検討 －家庭裁判所調査官のアプローチ対象とその内容－
分科会2 9B12	松村 歌子	女性支援における司法と福祉の 接続構造について考える
分科会3 9B13	飯田 智子	法律事務所で働くソーシャルワーカーの視点 ～司法福祉における実践的意義と持続可能性～
分科会4 9B14	大岡 由佳	犯罪被害者等の生活に根ざした 福祉のサポートとは？
分科会5 9B15	森久 智江	国連「再犯防止」準則からみる 日本の「再犯防止」施策の現在地

【午後の部】 13：30～16：00（150分）

分科会6 9B11	山岡 あゆち	出所者の「働く」を支える －就労支援における社会的障壁と心理社会的支援
分科会7 9B12	武 千晴	児童自立支援施設に培われてきた「理論」と 実践とが結び付いた体験 ～今、あらためて“先人の言葉”に学ぶ～
分科会8 9B13	伊藤 富士江	犯罪からの離脱、修復的正義、真の更生について改めて考 える－今、シャッド・マルナ、ハワード・ゼアの声を聞く－
分科会9 9B14	我藤 諭	反社会的行為に至った、複雑で多様なニーズを抱える 知的障害者・発達障害者等へのアプローチの検討 ～Good Way Model に着目して～

■ 自由研究報告（9号館地下2階）

【午前の部】 会場：9B21（各20分報告＋7～8分質疑）

予定時間	報告者	題 目
No.1 10:00-10:30	真田 悠生	子ども期に虐待的経験をもつ当事者の 「サバイバー／被害者」という語をめぐる経験 ：現象学的質的研究による検討
No.2 10:30-11:00	西角 純志	発達障害を有する累犯者に対する 医療・福祉・司法連携による更生支援の実践的研究

No. 3 11:00-11:30	古川 隆司	高齢者の自動車事故と予防に関する調査研究 —教習所への調査にもとづいて
No. 4 11:30-12:00	中村 秀郷	医療観察制度における被害者等でもある対象者家族への 対応に関する一考察—保護観察所の社会復帰調整官を対 象としたインタビュー調査の質的分析から—

【午後の部（１）】会場：９Ｂ２１（各２０分報告＋７～８分質疑）

予定時間	報告者	題 目
No. 5 13:30-14:00	竹中 祐二	再犯問題を「知る」ことは協力につながるのか —犯罪トレ ンド認知と再犯防止への協力意向の関係—
No. 6 14:00-14:30	藤森 一浩	触法精神障害者と保安処分の歴史に関する一考察
No. 7 14:30-15:00	齋藤 知子	児童虐待対応に関する他国の状況と人材育成について
No. 8 15:00-15:30	石田 咲子	満期釈放者の「息の長い」支援の実現に向けた 仕組みの検討

【午後の部（２）】会場：９Ｂ２２（各２０分報告＋７～８分質疑）

予定時間	報告者	題 目
No. 9 13:30-14:00	山田 美香	台湾の少年輔導委員会
No. 10 14:00-14:30	武田 明恵	少年院入院者の受けた児童虐待と児童の保護の 把握困難性—生活環境調整記録の分析を通して—
No. 11 14:30-15:00	貞村 真宏	制度的空白のもとでの福祉的支援情報と量刑判断：判決 文 90 件の相関分析とビネット実験による統合的検討

■ ポスター発表 会場：地下２階ラウンジスペース

■ （在席責任時間 8 月 30 日(日)12:00～13:00)

	報告者	題 目
No. 1	岩本 華子	DV 被害経験のある母親に対するペアレントプログラム CARE の実施 —母と子どもの関係の再構築のための支援実践—
No. 2	山岡 あゆち	「本人のために」決めない少年院仮退院後支援 — 一般社団法人ららの実践 —
No. 3	増井 香名子	カークパトリック研修評価に基づく Safe & Together モデル初期学習の効果 ：子どものいるDVケース実践に関する 事後アンケートとインタビュー調査から

■ Wifi ネットワーク

今大会では、ゲスト用 Wi-Fi のご用意はありません。ただし、どうしても必要な方のために若干名のゲスト Wi-Fi を用意しています。利用数に制限がありますので、各自でご用意いただくか、必要な方は受付で申請をしてください（申請登録手続きが必要です）

■ クローク

今大会では、クロークの設置は致しません。お荷物の管理は各自でお願い致します。

■ 昼食

今大会では、会員向けのお弁当の販売は行いません。

なお大学周りにコンビニや飲食店があります。比較的、五反田方面の方が飲食店が多いです。